

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 仁摩福祉会	代表者	石橋 秀利	法人・事業所の 特徴	仁摩町は自然豊かな環境に、約15分程度の移動半径に行政機関、医療機関、商店、文化施設などがあるコンパクトシティです。仁万、宅野、大国、馬路の4地区それぞれに文化的個別性があります。 法人は「個人の尊厳を尊重」、「地域福祉の増進」を基本理念に介護サービス、保育サービス、障害サービスを運営しています。 事業所は通いを中心に、泊り、訪問を柔軟に組み合わせて一体的に提供する小規模多機能型サービスを提供しており、これまでの暮らしの継続性を常に念頭に、生き甲斐活動も含めた生活全般のサポートに努めると同時に、地域住民間の互助の橋渡しに努めています。
事業所名	小規模多機能型 居宅介護事業所 ほほえみ	管理者	森山 まゆみ		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	2人	0人	0人	1人	0人	0人	3人		7人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	引き続きわかりやすい表記内容とし、職員にも、運営推進介護後にはサービスについての振り返りの機会を設けます。	・運営推進会議にてわかりやすいように色分けして説明しました。振り返りの時間がつくれず、来年度に持ち越します。	・わかりやすくなりました。ぜひ振り返りを行って下さい。	会議後には事業所ミーティングや申し送りノートを使用し、会議で出た意見に対して取り組んでいきます。
B. 事業所のしつらえ・環境	昨年と同様、ほほえみでの活動の様子を掲示し、来所した方へも見て頂きます。	写真の掲示をコンスタントに変えていくことが出来ました。	・写真だと様子がわかってうれしいです。もっとたくさん掲示してほしいです。	来年度は引き続き掲示し、ミサ難に喜んでもらえるように取り組みます。
C. 事業所と地域のかかわり	地域の困りごとをサポートできるように、ほほえみの活動紹介等を地域の民生委員の方やサロンへ発信します。また地域食堂へ利用者と参加し、地域の方との交流の機会を設けます。	サロンには参加できませんでしたが、民生委員の方との連携は行いました。また、地域食堂へ毎月参加することが出来ました。	地域食堂への参加は、地域の方とかかわれるいい機会だと思いますので、良かったのではないのでしょうか。	引き続き「地域食堂」へ参加します。また、民生委員の方の定例会議やサロンにもほほえみを知って頂く機会を設けていきます。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	感染状況を確認しながら、利用者の住む地域の行事に参加します。また、地域食堂へ参加し、地域と利用者の繋がりができるよう支援します。	地域食堂をはじめ、各地区の文化祭に出品したり、見学することができました。	地域に出掛けられ、良かったのではないのでしょうか。続けられるといいと思います。	利用者の住む地域の催し物に積極的に参加します。また、地域食堂では新しい利用者の方に参加して頂き、サポートします。